

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																				
1. 農業委員会費	<p>本年度は農業委員の改選期にあたり、町長が議会の同意を得て任命する「任命制」により、令和2年4月1日から28日までの期間で公募を行った。公募の結果、定数14人に対し同数の届出があり、農業委員会委員候補者評価委員会の審査を経たのち、第2回定例町議会において同意を得た14人が新たな農業委員として任命された。</p> <p>7月20日には、第1回農業委員会総会を開催し、会長に森本耕二委員、会長職務代理者に足立雅人委員、農地小委員会委員長に山内徳彦委員、同副委員長に香川国彦委員、農業振興小委員会委員長に渡邊一元委員、同副委員長に河村繁美委員を選出した。</p> <p>農業委員は、知識と資質の向上に努めるべく研修を毎年行っており、本年度は道外視察研修を実施する予定としていたが、全国的に発生している新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、まん延防止や安全確保の観点から実施を中止とした。</p> <p>遊休農地の発生防止に向けて、農地の利用状況等を調査する「農地パトロール」については、8月18日に農業委員と事務局職員の参加により例年どおり実施した。</p> <p>1. 農業委員会開催実績 令和2年4月～令和3年3月まで 12回</p> <p>2. 審議</p> <table border="1" data-bbox="373 840 1422 1435"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>件数</th> <th>面 積(ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">農 地 法</td> <td rowspan="2">譲 渡</td> <td>贈 与 (3条)</td> <td>5</td> <td>135.0</td> </tr> <tr> <td>売 買 (3条)</td> <td>3</td> <td>20.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">貸 借 (3条)</td> <td>18</td> <td>294.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農地転用</td> <td>4 条</td> <td>3</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>5 条</td> <td>8</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>一時転用</td> <td>1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">そ の 他 (3条)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農業経営 基盤強化 促進法</td> <td rowspan="2">所 有 権 移 転</td> <td>売 買</td> <td>4</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>贈 与</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸 借</td> <td>貸 貸 借</td> <td>94</td> <td>442.0</td> </tr> <tr> <td>使用貸借</td> <td>1</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">現 況 証 明</td> <td>6</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 委員会決定事項に基づく活動状況 (1) 農用地利用調整協議会活動 (実人数)</p> <table border="1" data-bbox="373 1541 1422 1718"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>譲渡・貸人</th> <th>譲受・借人</th> <th>面 積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所有権関係</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>貸借権関係</td> <td>29</td> <td>95</td> <td>444.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32</td> <td>99</td> <td>452.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 嘱託登記 ・住所変更 1件 ・所有権移転 4件</p> <p>(3) 小委員会等活動状況 ・農地小委員会 3回 ・農業振興小委員会 2回</p> <p>4. 主要業務実績 (1) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・新規申請 ・贈与税納税猶予(暦年課税) 0件 ・不動産取得税徴収猶予 1件</p>	区 分		件数	面 積(ha)	農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	5	135.0	売 買 (3条)	3	20.5	貸 借 (3条)		18	294.7	農地転用	4 条	3	1.2	5 条	8	3.2	計	11	4.4	一時転用	1	1.0	そ の 他 (3条)		—	—	農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	4	8.0	贈 与	—	—	貸 借	貸 貸 借	94	442.0	使用貸借	1	2.3	現 況 証 明		6	1.1	区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)	所有権関係	3	4	8.0	貸借権関係	29	95	444.3	計	32	99	452.3
区 分		件数	面 積(ha)																																																																		
農 地 法	譲 渡	贈 与 (3条)	5	135.0																																																																	
		売 買 (3条)	3	20.5																																																																	
	貸 借 (3条)		18	294.7																																																																	
	農地転用	4 条	3	1.2																																																																	
		5 条	8	3.2																																																																	
		計	11	4.4																																																																	
		一時転用	1	1.0																																																																	
そ の 他 (3条)		—	—																																																																		
農業経営 基盤強化 促進法	所 有 権 移 転	売 買	4	8.0																																																																	
		贈 与	—	—																																																																	
	貸 借	貸 貸 借	94	442.0																																																																	
		使用貸借	1	2.3																																																																	
現 況 証 明		6	1.1																																																																		
区 分	譲渡・貸人	譲受・借人	面 積 (ha)																																																																		
所有権関係	3	4	8.0																																																																		
貸借権関係	29	95	444.3																																																																		
計	32	99	452.3																																																																		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	(2) 農地等一括生前贈与に係る税金関係・継続申請					
		件数	猶予税額			
	贈与税納税猶予	9件	20,008,800円			
	不動産取得税徴収猶予	9件	922,290円			
	(3) 諸証明事務					
	・不動産取得税特別控除に係る証明 4件					
	・登録免許税軽減措置に係る証明 4件					
	・譲渡所得税特別控除に係る証明 3件					
	・営農証明 10件					
	(4) 農地パトロール					
8月18日に全町パトロールを実施。						
(5) 農業委員視察研修						
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
(6) 農業者年金推進事業						
代議員会 4月9日 庁議室						
区 分	加入者数 (被保険者)	受給者数				
		計	新制度		旧制度	
			老齢年金	特例付加	老齢年金	移譲年金
2年度新規	17	16	9	3	3	1
2年度末実績	265	296	49	40	37	170
支給額	93,016,467円					
2. 農業振興費	<p>1. 概要</p> <p>令和2年度の農業を顧みると、春耕期は平年より気温・地温が低く推移し、断続的な降雨により、馬鈴しょの植付やてん菜の移植作業は平年よりやや遅れたが、その後の天候の回復により遅れを取り戻し、豆類の播種作業も順調に進んだ。</p> <p>5月には、干ばつ傾向であったものの各作物とも生育は平年並みに進み、6月に入り、高気圧の影響で平年より平均気温が高く雨量も少なく経過し、各作物とも1日から4日ほど生育は進んでいたが、中旬以降は低温・多湿・寡照傾向により生育は停滞し、作物への影響も懸念された。</p> <p>7月以降は比較的高温少雨が続き、8月から9月下旬にかけては、平均気温は高く日照時間も多い日があったが、徐々に湿った気流の影響により曇りや雨の日が多くなり、気象の偏りが大きい状況となった。</p> <p>畜産を含めた全体の販売額は6年続けて400億円を突破し444億円となった。</p> <p>農業を取り巻く情勢は、TPP11、日欧EPA、日米貿易協定と3年連続で大規模な市場開放が続いており、本年4月に国会で承認された地域的な包括的経済連携協定(RCEP)、本年1月に発効された英国との経済連携協定(日英EPA)など、今後の影響を注視する必要がある、さらには、新型コロナウイルス感染症の流行により、食料の安定供給の重要性が再認識された。</p> <p>こうした中で、本町農業の持続的な発展を図るためには、需給動向を踏まえた計画的な作付け、生産コストの低減、さらには食の安全・安心の確保など、消費者及び実需者のニーズに応じていくとともに、環境負荷の軽減など環境と調和のとれた農業生産により、消費者等の信頼を得ていく取組みが必要である。</p> <p>このため、足腰の強い農業・農業者の育成を図るべく、各種町単独事業の継続的な実施及び各種補助事業の積極的な活用をはじめ、施設等整備に対する長期低利子融資制度の活用、関係機関と連携した各種施策の推進など農業の振興を図った。</p>					

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績											
	2. 農業の動向											
	(1) 農家数の動向										(単位：戸)	
	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	
農家数	360	364	365	367	373	377	377	380	383	387	394	
	※農林業センサ数値（H23以降は産業振興課調べ）											
	(2) 主要畑作物の作付け動向							(単位：ha、kg/10a)				
	馬鈴薯	てん菜	大豆	小豆	菜豆	小麦	スイートコーン					
令和2年	2,104	2,090	631	931	370	2,272	623					
令和元年	2,125	2,100	763	849	356	2,310	634					
平成30年	2,167	2,120	770	762	391	2,300	641					
平成29年	2,229	2,150	775	652	419	2,360	599					
平成28年	2,140	2,190	826	549	548	2,380	602					
平成27年	2,076	2,210	551	806	536	2,440	597					
平成26年	2,110	2,130	385	954	499	2,530	601					
平成25年	2,120	2,140	329	954	448	2,570	594					
平成24年	2,111	2,110	383	871	428	2,590	602					
平成23年	2,112	2,160	338	863	471	2,640	578					
平成22年	2,150	2,230	270	777	549	2,610	571					
平成17年	2,067	2,360	426	910	614	2,451	439					
平成12年	2,539	2,345	293	879	513	2,352	443					
平成7年	2,800	2,361	126	791	615	2,104	406					
平成2年	2,990	2,315	109	585	612	2,492	312					
昭和60年	3,200	2,283	223	602	421	2,243	146					
令和2年反収	3,831	6,590	293	306	270	601	1,809					
平年反収	3,894	6,129	271	269	185	500	1,483					
指 数	106	103	88	109	117	114	84					
	3. 農業振興対策事業の実施状況											
	国・道費を伴う補助事業の積極的な活用による農業振興を推進し、本年度においては、強い農業づくり事業補助金等により地域活性化に向けた事業を実施した。											
	(1) 強い農業づくり事業補助金										(単位：円)	
	事業区分	事業内容					事業費	補助金				
①	整備事業	経営体の育成（R2当初） （融資主体型補助） ・農作業機械の導入（2戸：8台）					63,057,280	17,195,000				
②	整備事業	経営体の育成（R2追加） （融資主体型補助） ・農作業機械の導入（1戸：1台）					14,915,000	3,000,000				
③	整備事業	産地競争力の強化 ・大豆バラ受入施設 ・令和2年度から令和3年度へ繰越					84,700,000	38,500,000				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																															
	(2) その他国・道費等を伴う補助事業等 (単位：円)																															
	事業種目名		事業内容				事業費		補助金																							
	①	農業経営基盤強化 資金利子補給事業	スーパーL資金借入農家への 一部利子補給				3,133,811	1,566,866																								
	②	経営所得安定対策 直接支払推進事業	経営所得安定対策の実施に係 る事務費補助				325,599	325,599																								
	③	農業振興施設等整 備事業補助金	地域づくり総合交付金事業 豆類色彩選別機改修整備				81,400,000	37,000,000																								
	④	畑作構造転換事業	てん菜の風害・湿害軽減技術の 導入 (209,093a)				62,547,000	62,547,000																								
			病害虫抵抗性品種の導入 (104,713a)				31,413,900	31,413,900																								
			豆類の省力栽培に向けた取組 (132,921a)				55,755,420	55,755,420																								
			り病率の低い種子の供給に向 けた取組 (22,660a)				18,128,000	18,128,000																								
			種子用馬鈴しょ品質向上技術 導入の取組 (3,360a)				2,016,000	2,016,000																								
	<p>(3) 町単独補助事業等</p> <p>①農畜産物対策実行委員会負担金 210,000円</p> <p>②農業後継者就農激励会負担金 82,397円</p> <p>③農業振興対策本部助成金 1,346,765円</p> <p>④農民組織運営活動助成金 3,100,000円</p> <p>⑤農業担い手支援協議会活動助成金 600,000円</p> <p>⑥循環型農業システム検討会活動助成金 20,440円</p> <p>⑦家畜糞尿バイオガスプラント整備推進助成金 1,480,000円</p>																															
	<p>4. 農業後継者関係 新規就農農業後継者調べ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> <th>H27</th> <th>H26</th> <th>H25</th> <th>H24</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>										年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	人数	9	5	9	9	2	7	9	8	8	8
年度	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23																						
人数	9	5	9	9	2	7	9	8	8	8																						
	<p>5. 担い手育成関係</p> <p>担い手相談員1名を任命し、町の将来を担う者の結婚推進に関する相談・助言・情報収集、担い手支援協議会との連絡協調、農業後継者等及びそのグループ活動の育成確保に関する相談・助言を実施している。</p> <p>令和2年度委嘱 高橋正道氏 (南一区)</p>																															
	<p>6. 土幌町農畜産物加工研修施設 (しほろキッチン)</p> <p>土幌町の農畜産物の有効活用を通じた農業振興及び地域住民の生活向上を目的として、特産品の研究開発や加工技術の調査研究の拠点、「食」をキーワードに住民が集う食育の場としての役割を担っており、これら「食」に関する研修や相談指導、イベント等の実施を通して「食」の発展と地域産業の振興、担い手育成に努め、円滑な施設の運営を進めるものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い施設の一時閉館(4月18日から5月31日まで)や利用制限を設け、万全な感染対策を行い研修利用の受け入れを行ったが、感染症の再拡大や外出自粛等により利用者数は前年と比べ減少し、18グループ、47人(前年度68グループ、841人)の利用となった。</p>																															

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																	
	<p>(1) 指定管理委託 (株) Cheersに指定管理者として委託し、施設を管理運営させた。指定管理委託料は、施設の管理に要する経費から利用料相当分を差し引き、16,060,000円の年度協定を締結したが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により、第4四半期分が辞退となり、12,045,000円となった。</p> <p>(2) 各研修等実施日数及び延べ人数</p> <table border="1" data-bbox="375 504 1082 739"> <thead> <tr> <th>加工室等</th> <th>日 数</th> <th>回 数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農産ゾーン</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>乳産ゾーン</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>畜産ゾーン</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>パーティールーム</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1回の研修で複数の加工室等を使う場合がある。</p> <p>(3) 施設使用料等</p> <table border="1" data-bbox="375 806 858 1086"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設使用料</td> <td>57,362</td> </tr> <tr> <td>原材料及び包装費</td> <td>16,960</td> </tr> <tr> <td>実 費 負 担</td> <td>15,843</td> </tr> <tr> <td>主催研修参加費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>90,165</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 備品購入 卓上アイスクリームマシン 641,300円 オートマチックシノア 484,000円</p>			加工室等	日 数	回 数	延べ人数	農産ゾーン	18	18	41	乳産ゾーン	0	0	0	畜産ゾーン	2	2	6	パーティールーム	0	0	0	計	20	20	47	項 目	金額 (円)	施設使用料	57,362	原材料及び包装費	16,960	実 費 負 担	15,843	主催研修参加費	0	計	90,165											
加工室等	日 数	回 数	延べ人数																																															
農産ゾーン	18	18	41																																															
乳産ゾーン	0	0	0																																															
畜産ゾーン	2	2	6																																															
パーティールーム	0	0	0																																															
計	20	20	47																																															
項 目	金額 (円)																																																	
施設使用料	57,362																																																	
原材料及び包装費	16,960																																																	
実 費 負 担	15,843																																																	
主催研修参加費	0																																																	
計	90,165																																																	
3. 農 業 振 興 基 金 運 用 事 業 費	<p>1. 運用事業実績 (1) 一般基金</p> <table border="1" data-bbox="375 1299 1407 1937"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">歳 入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>36,184,930</td> </tr> <tr> <td>円滑化基金より</td> <td></td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>基金繰入金</td> <td></td> <td>26,758,800</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td></td> <td>50,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>113,943,730</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">歳 出</td> <td>農薬空袋処理事業</td> <td>農薬空容器処理経費助成</td> <td>329,000</td> </tr> <tr> <td>農業廃棄物処理事業</td> <td>農業用廃プラ処理経費助成</td> <td>2,064,000</td> </tr> <tr> <td>基幹作物輪作維持支援事業</td> <td>ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 17,839,200円</td> <td>26,758,800</td> </tr> <tr> <td>コントラ会事業助成金</td> <td>コントラクター組織活動助成</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>84,615,410</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>26,520</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>113,943,730</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年度末基金残高</td> <td>499,387,402円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項 目	内 容	金 額 (円)	歳 入	基金利子収入		36,184,930	円滑化基金より		1,000,000	基金繰入金		26,758,800	寄付金		50,000,000		計		113,943,730	歳 出	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000	農業廃棄物処理事業	農業用廃プラ処理経費助成	2,064,000	基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 17,839,200円	26,758,800	コントラ会事業助成金	コントラクター組織活動助成	150,000	積立金		84,615,410	運営費	報酬・旅費	26,520	計		113,943,730	年度末基金残高		499,387,402円	
	項 目	内 容	金 額 (円)																																															
歳 入	基金利子収入		36,184,930																																															
	円滑化基金より		1,000,000																																															
	基金繰入金		26,758,800																																															
	寄付金		50,000,000																																															
	計		113,943,730																																															
歳 出	農薬空袋処理事業	農薬空容器処理経費助成	329,000																																															
	農業廃棄物処理事業	農業用廃プラ処理経費助成	2,064,000																																															
	基幹作物輪作維持支援事業	ポテトハーベスター導入助成 ※他町費 17,839,200円	26,758,800																																															
	コントラ会事業助成金	コントラクター組織活動助成	150,000																																															
	積立金		84,615,410																																															
	運営費	報酬・旅費	26,520																																															
	計		113,943,730																																															
年度末基金残高		499,387,402円																																																

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																												
	<p>(2) 特別基金</p> <p>1号基金</p> <p>基金利子収入 13,432,390円</p> <p>年度末基金残高 972,888,890円</p> <p>2号基金</p> <p>基金利子収入 961,614円</p> <p>年度末基金残高 69,648,395円</p> <p>1号基金+2号基金 1,042,537,285円</p> <p>2. 不動産保有の明細 (一般基金)</p> <table border="1" data-bbox="371 607 1406 958"> <thead> <tr> <th>住 所</th> <th>地 目</th> <th>面 積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白老郡白老町字石山 109 番地 16</td> <td>原 野</td> <td>25,893</td> </tr> <tr> <td>〃 109 番地 18</td> <td>〃</td> <td>15,460</td> </tr> <tr> <td>〃 109 番地 36</td> <td>〃</td> <td>3,360</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>44,713</td> </tr> <tr> <td>苫小牧市字植苗 112 番地 2</td> <td>山 林</td> <td>97,964</td> </tr> <tr> <td>〃 112 番地 6</td> <td>〃</td> <td>17,507</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>115,471</td> </tr> </tbody> </table> <p>(特別基金)</p> <table border="1" data-bbox="371 994 1406 1256"> <thead> <tr> <th>住 所</th> <th>地 目</th> <th>面 積 (㎡)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧市字美沢 1 番地 3</td> <td>山 林</td> <td>53,144</td> </tr> <tr> <td>〃 1 番地 5</td> <td>〃</td> <td>13,008</td> </tr> <tr> <td>〃 1 番地 6</td> <td>〃</td> <td>11,147</td> </tr> <tr> <td>〃 1 番地 7</td> <td>宅 地</td> <td>1,417.19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>78,716.19</td> </tr> </tbody> </table>			住 所	地 目	面 積 (㎡)	白老郡白老町字石山 109 番地 16	原 野	25,893	〃 109 番地 18	〃	15,460	〃 109 番地 36	〃	3,360	計		44,713	苫小牧市字植苗 112 番地 2	山 林	97,964	〃 112 番地 6	〃	17,507	計		115,471	住 所	地 目	面 積 (㎡)	苫小牧市字美沢 1 番地 3	山 林	53,144	〃 1 番地 5	〃	13,008	〃 1 番地 6	〃	11,147	〃 1 番地 7	宅 地	1,417.19	計		78,716.19
住 所	地 目	面 積 (㎡)																																											
白老郡白老町字石山 109 番地 16	原 野	25,893																																											
〃 109 番地 18	〃	15,460																																											
〃 109 番地 36	〃	3,360																																											
計		44,713																																											
苫小牧市字植苗 112 番地 2	山 林	97,964																																											
〃 112 番地 6	〃	17,507																																											
計		115,471																																											
住 所	地 目	面 積 (㎡)																																											
苫小牧市字美沢 1 番地 3	山 林	53,144																																											
〃 1 番地 5	〃	13,008																																											
〃 1 番地 6	〃	11,147																																											
〃 1 番地 7	宅 地	1,417.19																																											
計		78,716.19																																											
4. 農業振興人材育成基金 運用事業費	<p>運用事業実績</p> <table border="1" data-bbox="371 1323 1406 1816"> <thead> <tr> <th></th> <th>項 目</th> <th>内 容</th> <th>金 額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">歳入</td> <td>基金利子収入</td> <td></td> <td>1,329,934</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,329,934</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">歳出</td> <td>農協青年・女性部研修講座等 受講助成金</td> <td>農協青年・女性部研修助成</td> <td>45,000</td> </tr> <tr> <td>アグリ研究グループ活動事業 助成金</td> <td>農業技術研究活動経費助成</td> <td>427,000</td> </tr> <tr> <td>人材育成団体活動助成金</td> <td>士幌啓明塾活動助成</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td></td> <td>695,694</td> </tr> <tr> <td>運営費</td> <td>報酬・旅費</td> <td>12,240</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td></td> <td>1,329,934</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>年度末基金残高</td> <td>140,688,871円</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	内 容	金 額 (円)	歳入	基金利子収入		1,329,934	計		1,329,934	歳出	農協青年・女性部研修講座等 受講助成金	農協青年・女性部研修助成	45,000	アグリ研究グループ活動事業 助成金	農業技術研究活動経費助成	427,000	人材育成団体活動助成金	士幌啓明塾活動助成	150,000	積立金		695,694	運営費	報酬・旅費	12,240		計		1,329,934			年度末基金残高	140,688,871円							
	項 目	内 容	金 額 (円)																																										
歳入	基金利子収入		1,329,934																																										
	計		1,329,934																																										
歳出	農協青年・女性部研修講座等 受講助成金	農協青年・女性部研修助成	45,000																																										
	アグリ研究グループ活動事業 助成金	農業技術研究活動経費助成	427,000																																										
	人材育成団体活動助成金	士幌啓明塾活動助成	150,000																																										
	積立金		695,694																																										
	運営費	報酬・旅費	12,240																																										
	計		1,329,934																																										
		年度末基金残高	140,688,871円																																										
5. 畜産業費	<p>1. 概要</p> <p>本町の生乳生産状況は、全道的に畜産クラスター事業等による規模拡大に向けた後押しがある中、前年に続き良質な粗飼料が確保されたこともあり、全道で対前年度比102.3%、本町においては同比101.8%となり、昨年度の史上最高を上回る97,292トンとなったが、一方で、コロナ禍による外食、観光の自粛などで牛乳・乳製品の需要が低迷し、生乳も供給過剰が続いたことで乳価にも影響を与え、生乳販売高は96億円となった。</p>																																												

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																					
	<p>肉牛については、コロナ禍で飲食店向けの牛肉需要が落ち込む中、米国産牛肉の輸入量が日米貿易協定で定める基準を超えたことにより、同協定が発効してから初となるセーフガードが発動されるなど、米国産などの輸入増加による国産への影響が懸念される。また、和牛肉はコロナ禍の影響で枝肉価格の急落と在庫増となったが、その後、国の在庫対策により相場が回復するなど価格が乱高下した。本町においては、ホル雄の「しほろ牛」が中心であることから、和牛肉とは対照的に巣ごもり需要増により年度当初は枝肉相場も堅調であったが、その後は和牛肉同様需要が低迷し下落傾向となり、依然として肉牛肥育経営については厳しい状況が続いている。</p> <p>防疫対策については、十勝家畜保健衛生所との連携のもと防疫体制の強化を図り、十勝管内における家畜の監視伝染病発生も依然として高いことから、引き続きまん延を最小限に抑える取り組みが必要である。</p> <p>なお、畜産振興として各種団体に対する助成を行ったほか、国の高収益型畜産体制構築事業を活用し、士幌町酪農畜産クラスター協議会において、産地の取組項目や収益向上目標等の計画を基に機械導入を行い、作業効率の向上を図った。</p> <p>2. 家畜飼養頭数 (単位：頭)</p> <table border="1" data-bbox="373 804 1412 1155"> <thead> <tr> <th>家畜の区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳 牛</td> <td>20,007</td> <td>19,662</td> <td>19,904</td> <td>18,971</td> </tr> <tr> <td>ホ ル 雄</td> <td>42,445</td> <td>35,236</td> <td>33,994</td> <td>34,942</td> </tr> <tr> <td>肉用種 (F1)</td> <td>15,216</td> <td>23,683</td> <td>20,307</td> <td>19,634</td> </tr> <tr> <td>黒 毛 和 牛</td> <td>1,338</td> <td>1,729</td> <td>1,367</td> <td>1,273</td> </tr> <tr> <td>馬</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>79,041</td> <td>80,345</td> <td>75,623</td> <td>74,882</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 農家戸数 (単位：戸)</p> <table border="1" data-bbox="373 1225 1412 1375"> <thead> <tr> <th>農家区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搾 乳 農 家</td> <td>62</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>肉 牛 農 家</td> <td>41</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 生乳生産動向 (単位：トン)</p> <table border="1" data-bbox="373 1444 1412 1545"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生 乳 生 産 量</td> <td>97,292</td> <td>95,790</td> <td>93,078</td> <td>89,522</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 家畜伝染病予防法に基づく検査状況</p> <p>家畜伝染病の発生やまん延を防止するため、次のとおり検査を実施した。</p> <p>法第51条検査において継続的に発生している農家8戸に引き続き検査を実施し対策を講じ、3件が清浄化し新たに2戸が対策農家となり7戸となった。また、法第5条検査(24か月齢以上の繁殖雌)では5年に一度の牛のヨーネ病発生防止のため、18戸、2,037頭の検査を実施した結果、新たな発症はなかった。</p> <table border="1" data-bbox="373 1818 1406 1919"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>頭数・群数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛 の 5 条 検 査</td> <td>2,037</td> <td>佐倉、上居辺、下居辺</td> </tr> </tbody> </table>				家畜の区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	乳 牛	20,007	19,662	19,904	18,971	ホ ル 雄	42,445	35,236	33,994	34,942	肉用種 (F1)	15,216	23,683	20,307	19,634	黒 毛 和 牛	1,338	1,729	1,367	1,273	馬	35	35	51	62	計	79,041	80,345	75,623	74,882	農家区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	搾 乳 農 家	62	63	63	63	肉 牛 農 家	41	41	42	45		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	生 乳 生 産 量	97,292	95,790	93,078	89,522	区 分	頭数・群数	備 考	牛 の 5 条 検 査	2,037	佐倉、上居辺、下居辺
家畜の区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																		
乳 牛	20,007	19,662	19,904	18,971																																																																		
ホ ル 雄	42,445	35,236	33,994	34,942																																																																		
肉用種 (F1)	15,216	23,683	20,307	19,634																																																																		
黒 毛 和 牛	1,338	1,729	1,367	1,273																																																																		
馬	35	35	51	62																																																																		
計	79,041	80,345	75,623	74,882																																																																		
農家区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																		
搾 乳 農 家	62	63	63	63																																																																		
肉 牛 農 家	41	41	42	45																																																																		
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度																																																																		
生 乳 生 産 量	97,292	95,790	93,078	89,522																																																																		
区 分	頭数・群数	備 考																																																																				
牛 の 5 条 検 査	2,037	佐倉、上居辺、下居辺																																																																				

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績		
	6. 家畜改良増殖法による種畜検査		
	区 分	頭 数	備 考
	種 雄 牛	7	黒毛和牛5頭、ホルスタイン種2頭
	種 雄 馬	3	北海道和種1頭、ポニー系種2頭
	7. 畜産振興助成金等事業 (単位：円)		
	事 業 名	金 額	
	乳牛検定事業活動助成金	1,680,000	
	酪農振興協議会活動助成金	105,000	
	肉牛振興会活動助成金	56,000	
	馬事振興会活動助成金	28,000	
酪農ヘルパー事業助成金	3,200,000		
家畜損害防止事業助成金	3,560,000		
畜舎等衛生事業助成金	1,000,000		
8. 酪農振興基金事業運用実績 (単位：円)			
	項 目	内 容	金 額
歳 入	基金利子収入(1号)		1,794,965
	基金繰入金		1,680,709
	基金利子収入(2号)		553,316
	計		4,028,990
歳 出	酪農振興基金運用委員会運営費	委員報酬	21,000
	"	委員費用弁償	2,640
	酪農ヘルパー事業助成金	酪農ヘルパー事業助成	1,700,000
	(1号)基金利子再積立		1,752,034
	(2号)基金利子再積立		553,316
計		4,028,990	
年度末基金残高 325,598,529円			
〔 内訳 1号：224,442,034円 2号：101,156,495円 〕			
6. 土地改良事業費	<p>1. 土地改良事業関係</p> <p>土地基盤整備の実施により農業生産性の向上と経営基盤の強化を図るため、主に暗渠排水及び石礫除去等の圃場整備を優先し、併せて、営農の基本となる湿害防止のための明渠排水、農道整備を実施した。</p> <p>団体営事業では、農道整備事業中土幌20号西地区、小規模土地改良事業及び農地耕作条件改善事業を実施した。</p> <p>道営事業では、農地整備事業継続6地区（土幌南部第2地区、土幌佐倉第2地区、第2下居辺地区、土幌地区（単独営農用水）、土幌川西地区、北中地区）、土幌川西東北地区の調査計画及び農道特別対策事業1地区（上居辺地区（柏・柏野））を実施した。</p> <p>国営事業では、かんがい排水事業継続2地区（富秋土幌川下流地区、土幌西部地区）を実施した。各事業の実施状況は次のとおりである。</p>		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
	(1) 団体営事業 (事業主体：町) () 前年度				
	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別 補助額 (千円・%)
	農道整備	中士幌 20号西	農道 L=163m	(59,002) 25,872	継 —
	小規模土地改良	士幌南	排水路 L=248m	(9,306) 12,023	新 4,000
	農地耕作条件	士幌南	排水路 L=1,100m	(125,179) 35,288	新 国・道 64
	(2) 道営事業 () 前年度				
	事業区分	地区名	事業量	事業費 (千円)	新継別 補助率 (%)
	道営農地整備	士幌 南部第2	明渠排水 L=223m 区画整理 A=102.3ha 石礫除去 A=8.6ha 排水路附帯工 一式	(165,172) 158,651	継 国・道 80
		士幌 佐倉第2	排水路附帯工 一式 石標埋設 一式	(116,314) 3,171	継 "
		第2 下居辺	区画整理 A=114.5ha 暗渠排水 A=6.9ha 調査設計 一式	(207,790) 181,885	継 "
		士幌(営)	管路工 L=7,390m 附帯工 一式	(504,949) 235,154	継 国・道 72.5
		士幌 川西西	区画整理 調査設計一式 排水路 調査設計一式	(76) 77,473	継 国・道 80
	道営農地整備	士幌 川西東北	調査計画 一式	(0) 150	継 道 50
	道営通作条件整備	北中	調査設計 一式 地質調査 一式	(0) 43,494	継 国・道 77.5
	道営農道特別対策	上居辺 (柏・柏野)	農道 L=1,030m 用地・補償費 一式	(77,740) 83,620	継 道 50

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績				
計			区画整理 A=216.8ha 暗渠排水 A=6.9ha 石礫除去 A=8.6ha 明渠排水 L=223m 農道 L=1,030m 管路工 L=7,390m 調査設計 一式 地質調査 一式 調査計画 一式 用地・補償費 一式	(1,072,041) 783,598	
(単位：千円)					
	国・道補助金	北電等	地元負担金	うち町負担金 (PU助成含む)	
負担内訳	(776,455) 583,023	(0) 0	(275,586) 200,575	(201,154) 130,579	
<p>(3) 農業競争力基盤強化特別対策事業 担い手農家の育成・確保に向けた生産基盤の整備を促進するため、国（促進費）及び道と市町村が連携して農家負担を軽減した。負担割合及び負担額は次のとおりである。</p>					
	地元負担	うち農家負担	うち促進費	うち道負担	うち町負担
道営農地整備	20%	7.5%	6.25%	3.125%	3.125%
負担額（千円）	69,920	26,220	21,850	10,920	10,930
<p>(4) 国営かんがい排水事業 富秋土幌川下流地区は、調査設計・用地補償・工事を実施した。 事業費196,168千円 士幌西部地区は、調査設計・用地補償・工事を実施した。 事業費302,543千円</p>					
<p>2. 町単独事業として実施した事業 明渠排水路維持工事として、新田地区2号明渠排水整備工事ほかを実施した。 (前年度 9,235千円) 事業費12,997千円</p>					
<p>3. 多面的機能支払交付金事業 平成19年度から実施している農地・水・環境保全向上対策事業は、平成24年度より農地・水保全管理支払交付金事業、平成26年度より多面的機能支払交付金事業として町内農村部全9地区が共同活動を行った。</p>					

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績					
	地区名	農用地面積 (h a)	交付金 (千円)	うち町負担 (千円)		
	西 上	1,396.10	14,701	3,675		
	上居辺	2,600.00	33,923	8,481		
	中士幌	928.39	10,964	2,741		
	士幌南	2,007.25	24,859	6,215		
	佐 倉	1,500.39	12,365	3,091		
	士幌北	1,508.82	18,180	4,545		
	下居辺	1,117.47	9,451	2,363		
	北 中	1,732.68	10,779	2,695		
	新 田	1,640.78	8,849	2,212		
	計	14,431.88	144,071	36,018		
7. 農地利用集積円滑化事業基金運用事業費	1. 事業による管理地					
		管理件数	面積 (㎡)	取得価格(円)	利子補給金(円)	管理費(円)
	令和2年度末管理地	22	1,486,587	210,103,943	3,151,548	1,633,548
	令和2年度指定管理地	0	0	0		
	2. 運用事業実績					
		項 目	内 容	金 額 (円)		
歳入	基金利子収入			4,550,387		
	運用益金			7,224,139		
	計			11,774,526		
歳出	管理費補助・利子補給金			4,785,096		
	振興基金へ			1,000,000		
	積立金			5,966,230		
	運営費	報酬・旅費		23,200		
	計			11,774,526		
		年度末基金残高	309,325,417円			
8. 林業振興費	1. 民有林振興対策事業					
	<p>林業を取り巻く情勢は、木材価格の低迷など森林所有者の林業に対する関心は低下している。一方、森林の二酸化炭素吸収による地球温暖化防止や地球にやさしい循環資源である木材利用の拡大など森林・林業に対する期待が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、国や道による各種施策が展開され、本町においては、関係機関と連携して林業の振興や民有林の整備を推進した。</p>					
	(1) 未来につなぐ森づくり推進事業					
	<p>伐採後の確実な植林等を実施することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能の発揮を図るため、植栽事業の経費の一部を補助した。</p>					
	事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち道補助金(円)		
	造 林	30.09	5,582,173	3,435,174		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績																																																																			
	<p>(2) 輝く未来につなぐ森林整備事業 植林後の下刈り、保育間伐等に支援することにより、森林資源の循環利用を推進し、森林の有する多面的機能の発揮を図るため、下刈・保育間伐事業の経費の一部を補助した。</p> <table border="1" data-bbox="384 394 1422 593"> <thead> <tr> <th>事業種</th> <th>事業量(ha)</th> <th>実施者への補助金(円)</th> <th>うち森林基金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下 刈</td> <td>101.67</td> <td>2,158,458</td> <td>2,158,458</td> </tr> <tr> <td>保 育 間 伐</td> <td>14.56</td> <td>272,466</td> <td>272,466</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>116.23</td> <td>2,430,924</td> <td>2,430,924</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 森林認証 平成27年度に十勝管内17市町村と12森林組合、その他20法人及び個人の森林所有者でとち森林認証協議会を組織し、第三者機関による森林認証「S G E C」を取得。町内の民有林2,337haの森林認証を受けている。</p> <p>2. 林業関係団体負担金</p> <table border="0" data-bbox="384 801 1220 969"> <tr> <td>(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金</td> <td>55,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金</td> <td>38,000円</td> </tr> <tr> <td>(3) 北海道造林協会負担金</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>(5) とち森林認証協議会負担金</td> <td>174,180円</td> </tr> </table> <p>3. 有害鳥獣駆除事業 エゾシカの生息環境等の変化に伴い農業被害が広範囲で発生しており、猟友会の協力を得て個体数調整捕獲や巡回などの対策を実施している。 エゾシカ被害の軽減対策として、土幌町農業協同組合との共同事業である地域エゾシカ対策事業として「くくりわな」による捕獲を実施した。 キツネやカラスによる農畜産業被害や生活環境被害の対策として、箱わなによる捕獲を通年実施した。 平成22年度に組織した土幌町鳥獣被害防止対策協議会（構成団体：土幌町農業協同組合、十勝大雪森林組合、猟友会土幌部会、十勝総合振興局農業改良普及センター十勝北部支所、土幌町）では、有害鳥獣の一斉捕獲など鳥獣被害防止対策を行った。</p> <p>有害鳥獣捕獲状況</p> <table border="1" data-bbox="384 1417 1439 1624"> <thead> <tr> <th>鳥獣区分</th> <th>ヒグマ (頭)</th> <th>エゾシカ (頭)</th> <th>キツネ (匹)</th> <th>カラス (羽)</th> <th>ドバト (羽)</th> <th>アライグマ (匹)※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年度</td> <td>1</td> <td>182</td> <td>117</td> <td>51</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>0</td> <td>120</td> <td>157</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>2</td> <td>95</td> <td>60</td> <td>58</td> <td>26</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※アライグマは「特定外来生物」</p> <table border="0" data-bbox="384 1664 1165 1854"> <tr> <td>(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金</td> <td>91,000円</td> </tr> <tr> <td>(2) 有害鳥獣捕獲報償費</td> <td>1,802,100円</td> </tr> <tr> <td>(3) キツネ捕獲等委託料</td> <td>543,400円</td> </tr> <tr> <td>(4) カラス捕獲檻管理委託料</td> <td>390,000円</td> </tr> <tr> <td>(5) 地域エゾシカ対策事業助成金</td> <td>33,540円</td> </tr> </table> <p>4. 森林環境譲与税基金事業運用実績 令和元年度から譲与（配分）が開始された森林環境譲与税は、土幌町における間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源に充て、基金への積立てを行った。</p>				事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち森林基金(円)	下 刈	101.67	2,158,458	2,158,458	保 育 間 伐	14.56	272,466	272,466	計	116.23	2,430,924	2,430,924	(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	55,000円	(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円	(3) 北海道造林協会負担金	60,000円	(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	50,000円	(5) とち森林認証協議会負担金	174,180円	鳥獣区分	ヒグマ (頭)	エゾシカ (頭)	キツネ (匹)	カラス (羽)	ドバト (羽)	アライグマ (匹)※	2年度	1	182	117	51	0	12	元年度	0	120	157	26	0	9	30年度	2	95	60	58	26	8	(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金	91,000円	(2) 有害鳥獣捕獲報償費	1,802,100円	(3) キツネ捕獲等委託料	543,400円	(4) カラス捕獲檻管理委託料	390,000円	(5) 地域エゾシカ対策事業助成金	33,540円
事業種	事業量(ha)	実施者への補助金(円)	うち森林基金(円)																																																																	
下 刈	101.67	2,158,458	2,158,458																																																																	
保 育 間 伐	14.56	272,466	272,466																																																																	
計	116.23	2,430,924	2,430,924																																																																	
(1) 北海道治山林道協会十勝支部負担金	55,000円																																																																			
(2) 十勝流域森林・林業活性化センター負担金	38,000円																																																																			
(3) 北海道造林協会負担金	60,000円																																																																			
(4) 森林整備担い手対策推進事業負担金	50,000円																																																																			
(5) とち森林認証協議会負担金	174,180円																																																																			
鳥獣区分	ヒグマ (頭)	エゾシカ (頭)	キツネ (匹)	カラス (羽)	ドバト (羽)	アライグマ (匹)※																																																														
2年度	1	182	117	51	0	12																																																														
元年度	0	120	157	26	0	9																																																														
30年度	2	95	60	58	26	8																																																														
(1) 猟友会有害鳥獣駆除助成金	91,000円																																																																			
(2) 有害鳥獣捕獲報償費	1,802,100円																																																																			
(3) キツネ捕獲等委託料	543,400円																																																																			
(4) カラス捕獲檻管理委託料	390,000円																																																																			
(5) 地域エゾシカ対策事業助成金	33,540円																																																																			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績			
	(単位：円)			
	区 分	項 目	内 容	金 額
	歳 入	森林環境譲与税	—	5,922,000
		基金利子	—	1,393
		基金繰入金	—	2,430,924
		計		8,354,317
	歳 出	輝く未来につなぐ 森林整備事業	民有林の下刈・保 育間伐事業の経費 へ一部補助	2,430,924
		積立金	—	5,923,393
		計		8,354,317
	年度末基金残高 6,278,469円			
9. 林 道 費	<p>林道整備は森林の多面的機能を維持的に発揮していくための基盤であり、持続可能な森林経営を実現するために、簡易で丈夫な使いやすい道づくりを進め、林業の生産向上に努めている。</p> <p>本年度は、森林環境保全整備事業国庫補助事業道営林道「ワッカ美加登線」事業の開設延長424mが実施された。</p>			
	(単位：千円)			
		国・道補助金	町負担金	
	負 担 内 訳	33,255	11,085	
10. そ の 他	コミュニティセンター利用状況			
	利用延べ団体数	利用人数		
	104 団体	5,273 人		